

# かさおか

発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314



初代の心にかえり信仰の喜びを  
深めよう 伝えよう 広げよう  
一、持ち場立場で日々理作り  
一、家族揃って教会参拝  
一、一日一件にをいがけ

立教173年  
4月号

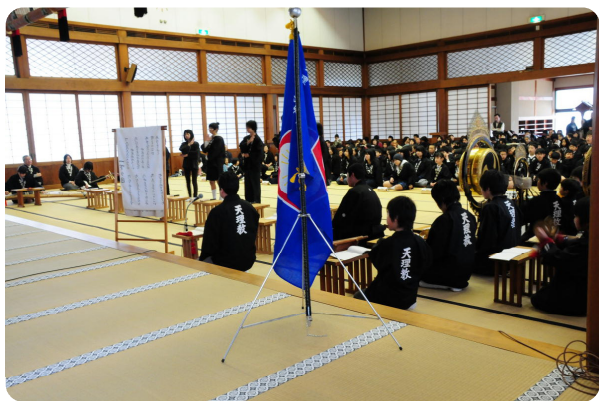
# 将来のおつとめ奉仕者目指して!

## おつとめまなび総会開催

少年会-

少年会笠岡団(中島誠治団長)は4月1日、同育成会長様(大教会会長様)、奥様を迎え、大教会でおつとめまなび総会を開催、あいにくの雨の中にもかかわらず、育成会員を含む520人が参加した。

少年会員による雅楽演奏で祭儀式が始まり、祭主、上原稔君(大教会)が「毎日、元気に過ごせるのも親神様のお陰です。少年会員として一人



真剣に賑やかにつとめられたおつとめまなび

でも多くの友達を誘って夏のこともおぢばがえりに参加します」と祭文を奏上。

引き続き、おつとめまなびがつとめられ、座りづとめ、てをどりの各下りをブロックごとに役割りを決めて真剣につとめた。

その後、式典に移り、まず育成会長様が「おつとめは陽気ぐらしをするために大切な事で、親神様が一番お喜び下さるもの。練習の成果を十分発揮して勇んでつとめて下さい。そして将来は教会のおつとめ奉仕者になってもらいたい」とあいさつ。

少年会の誓い、少年会歌斉唱。そして「わかぎ門出式」が行われ中島団長が「今日で、わかぎ」少年会員を終えるが、これからは学生会、青年会、女子青年へと進んでいく。それぞれの会で活動してもらおうと共に、夏のこどもおぢばがえりにも友達を誘って、今度はリーダーとして



わかぎ門出式の参加者

参加して欲しい」と激励。門出者17人に記念品を渡した(名前は記事末に記載)。次いで「おつとめはうまい、へたという事ではなく、皆が心を合わせてする事が大切と、各ブロックのおつとめまなびを講評し、終えた。

式典後、参加者はブロックごとに中庭に出された模擬店で昼食をとり、講堂で行われたゲームを楽しんだ。

おつとめまなび中、育成会員有志は雨の中、シートなどで雨よけの設営に当たり、参加者は雨に濡れる事

はなかった。また、今回はエコ対策の一環として、割り箸は一人1個とし各模擬店で使用した。

わかぎ門出者は次の通り(順不同、敬称略)。○上原稔(大教会)○田中なつ乃(福山)○門脇はづき(島根)○吉岡知夏(興明)○山野ちさと(上下)○日南住陽一(上下)○藤井理奈(福富士)○掛谷柚香(坪生)○原雅乃(芦常)○北川侑子(稲倉)○瀬良章(高児島)○鳥谷壮史(出雲)○門脇祐子(亀田山)○土江慶(簸ノ川)○内田直宏(雲東)○渡邊雄大(品治)○丸山優樹(木津和)



雨の中、模擬店の昼食に舌鼓をうつ参加者

# 談話室



## ❁ 学修に参加して ❁

芳井分教会 佐藤真与

今回、私は学生生徒修養会大学の部に参加しました。実は私はおぢばに帰らせていただいたことは一度もなく、おつとめすら一人では満足にできず、天理教についてほとんど何も知りませんでした。そんな私が今回参加しようと決めた裏には二つの理由がありました。

一つ目は、現在の大学生活への疑問と不満の思いです。振り返ってみると、入学前の意気込みはどこへやら、授業もそこそこ、何事にも熱意を持って取り組むことができずに漫然と過ごしてしまった一年間でした。学修のお話をいただいて、参加することによって何かしらこの現状を打開するヒントが得られるのではないかという淡い期待が心にわいたのです。

もう一つは、天理教というのが一体どのような教えなのか知りたいという気持ちがあったことです。私の祖父母は天理教信者であり、人の人生や世の中についての思慮がとても深く、私にもしばしばその時々で適切な意見や助言をしてくれるので非常に尊敬しています。天理教について学ぶことによって、彼らの「人生の知恵」の一端を見いだせるかもしれない、彼らの考えに少しでも近づけるかもしれない、と考えたのです。

学修が始まってみると、未知で不慣れな環境への緊張や不安などを感じる暇もないほど充実した毎日でした。修練、講義、グループワーク、にをいがけ、ひのきしん…。これらの体験はよい自己内省の機会を与えてくれ、そのそれぞれが意味をもつものとして心に残りましたが、全体を通して一つ強く感じたことがあります。それは、信者さんの「あたたかさ」です。

礼儀正しく、事あるごとに感謝の気持ちを口にすること、すれ違いざまに見ず知らずの人にでも挨拶し、声をかけ合うこと。同じ班のメンバーが、天理教について何も知らない私のことを仲間として迎え入れてくれたこと。理想として分かっている現実社会の中ではなかなかなされ得ないようなことが天理教の中では当然のように実践されている、このことに私は衝撃を受けると共に感動しました。まさに「世界一れつ皆兄弟」という教えを強く実感し、あたたかさにつつまれた一週間でした。

さて、学修の一週間も春休みも終わり、また日常の生活が戻ってきました。去年と相変わりのない日々ですが、毎日が少し楽しく感じられるようになりました。おぢばで学んだ様々な教えを生かして、喜びの種をまきながら、日々の陽気ぐらしにつなげていこうと思います。

最後になりましたが、今回私が学修に参加するように導いて下さった会長さんをはじめ、参加にあたってお世話になった方々、本当にありがとうございました。

2001年11月 笠岡大教会創立110周年記念祭、2002年5月 福山分教会6代会長就任・創立110周年記念祭、2003年10月 婦人会福山支部委員部長更迭総会、2004年5月 青年会・女子青年合同総会、2005年10月 広島教区女子青年大会、2006年6月 広島教区総会、2009年5月 広島教区総会「絆」など、数々の催しに花を添えて頂いた。

そして、今年の2月14日、初の単独公演を成功させた彼らは、今後10年は毎年開催を計画しているとのこと。二人にいずれは『おつとめ』を覚えてもらって、月次祭には上段にて『てをどり』を踊ってもらえたら…と願っている。 (福満・福島大介)

## プロフィール



★手島達也 (てしまたつや)

1968年5月28日生まれ

広島県竹原市出身

1991年、フィットネスクラブ在職中、同僚の岡田久美と出遭う。

1992年、岡田久美と“JUMP PERFORMANCE COMPANY”設立。

以降、オーナー兼マネージャーとして、岡田久美をサポートしている。



★岡田久美 (おかだくみ)

1967年4月5日生まれ

広島県尾道市因島出身

3歳より、平櫛バレエスクールにてモダンダンス・モダンバレエを始める。

1985年『平櫛安子、アンヌ・ヒラグシ モダンダンスカンパニー』へ入団。

退団後、“KUMI DANCE STUDIO JUMP”設立。

1992年、手島達也と“JUMP PERFORMANCE COMPANY”設立。

1993年、TONY・TEE氏と出逢い、ダンスの世界観が更に広がる。

近年はダンス全般を『AMM Performing Arts』の北島宏子氏に師事。ダンス・音楽・衣装・照明などで、さまざまな表現方法を探り、「踊ることとは何か」と自分自身に問いながら独自の世界観を創り続けている。

## 教会おとまり会の報告 (大恵山隊)

開催日	11月23日
参加者	少年会員3名 育成係5名 計8名
プログラム	11:00 リフレッシュ (バトミントン)
	12:30 参拝・お話し
	13:30 昼食会
	14:30 ウォーキングラリー
	17:00 閉会

感想) 来年のこどもおちばがえりの誘いができた。

子供の親へさんさい誌を渡し、こどもおちばがえりへの誘いができた。出来れば子供と一緒に育成会員として参加して下さるとよいと思いました。

おとまり会まではうまくいきましたが、こどもおちばがえりへつながると良いと思いました。

## “JUMP PERFORMANCE COMPANY”

今から、13、4年前。私がまだ尾道の酒屋に勤めていた頃のことである。店の倉庫の前で目立つ若いカップルと出くわした。女の子の方は不二家のペコちゃん人形のように、きれいに染めた髪をツインテールに結び、長身の「カレ」は色が黒く、外国人のように見えた。ペコちゃんが、「ここにポスターを貼らせてもらえませんか？」と声をかけてきたので、「上手に貼らんと風で直ぐに剥がれるよ。」と応えた。その時は、まさかこの二人と、また会うことがあるなんて思いもしなかった。

当時私は、仕事帰りにトレーニングジムに通っていたのだが、日を置かずして、そのトレーニングジムで、目立つ二人にまた遭った。二人とも若く、学生かと思っていたのだが、実はペコちゃん(岡田さん)は三原を拠点に県内で活動しているれっきとしたダンスのインストラクターで、外人のようにハンサムな手島さんはそのマネージャーであることを知った。



偶然の再会に話はずみ、私は、自分が天理教であることや、大教会の野球チームに所属していることなどを話した。すると、手島さんは、過去にプロテストを受けて入団寸前までいったということを打ち明けてきたので、そんな腕前に惚れて思わずチームに誘ってしまった。

興味を示す手島さんだが、実は、よふぼくでなければ参加資格がないのだ。そこで、別席の話をする、なんとすぐさま手島さんは承諾。1999年11月28日、岡田さんと二人でおさづけの理を拝戴されたのだった。この年は、私の父が出直したため会長に就任したばかりの私にとっての、初めてのよふぼくの誕生であった。

よふぼくになられてから二人は、ダンスで生徒さんを指導する際に、お道の教えを参考にしながら、活動を続けてこられた。

### 第830期修養科募集要項

**\*修養科期間**

立教173年6月1日～8月27日

**\*教 養 掛**

3ヶ月間	今 川 昌 彦	(大教会准役員)
1ヶ月目	福 島 大 介	(福満分教会長)
2ヶ月目	余 村 健	(多古浦分教会長)
3ヶ月目	渡 邊 孝 信	(神驛分教会長)

**\*募集要項**

- ・志願者は、6月末日現在で満17歳以上で、必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・5月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、8月29日の昼食後に解散。

## ◆縦の伝道講習会

- 【と き】 5月21日(金) 月次祭・祭典講話として開催。  
 【講 師】 少年会本部委員長 山本利彦先生  
 【内 容】 縦の伝道の素晴らしさについての講話  
 【対 象】 教会長夫妻、布教所長、隊育成委員長、ようばく、信者。  
 \*全隊からの受講をお願い致します。

## ◆青年会・女子青年合同 十三峠越え・クッキングコンテスト

- 【期 間】 5月29日(土)～30日(日)。  
 【集合場所】 5月29日 午前7時30分、大教会。  
 【参加費】 5,000円。  
 \*詳細は各教会配布のチラシをご覧ください。

## ◆実行委員会より 報告 と ご案内

### ☆別席ひのきしん団参

- 日 時 6月27日(日) 11時  
 会 場 東 講 堂  
 内 容 大教会長様 挨拶  
 お帰り講話 伊藤芳正先生(幅下大教会長)  
 昼食(各自弁当または本部食)  
 おつとめ(13時15分より東礼拝場にて拍子木を入れて勤める)  
 ひのきしん終了後 解散

笠岡一手一つ大会のスケジュールが実行委員会で決まりました。以下の通りです。不具合があれば、また、だんだんと意見が出てくれば、追加変更していきます。

### ☆笠岡一手一つ大会(10月31日) タイムスケジュール

- 10:00 おつとめ開始  
 12:00 終 了  
 大教会長様あいさつ  
 感話 × 2名  
 12:45 終了、着替え  
 13:00 模擬店開始  
 13:30 アトラクション開始  
 14:30 アトラクション終了  
 福引き開始  
 15:00 全て終了

又、おつとめまなびの各下り毎に終わって場所をどこかに決めて記念撮影したらどうかという案も出ています。これからブロック毎にてをどり・おつとめの練習をして頂きますが、その中で種々意見を出して頂いて実行委員会に持って来て頂ければと期待しております。

## 第6回大教会長杯親睦大スポーツ大会開催

大教会長様から「笠岡内でブロックを越えた親睦を深める会を開いて貰いたい」という思いで始まったこの大会も、今年で第6回目を迎えます。

今年は**5月23日(日)**に行います。

昨年までは雨天の為、最後まで試合が出来なかったり、ソフトバレーボールになったこともありましたが。6回目は晴れるそうです??

昨年は初めて全ブロック参加の10チームがエントリーし180名ほどの人が集まり賑やかな大会を持つことが出来ました。また婦人会も参加して全会参加になりました。

今年も、多くの方々が参加出来るよう、1チームに会長さん、50歳以上の方、女性の方、少年会員も必ず入るようになっています。

尚参加お供えは中学生以上一人500円となっています。当日はおいしい昼食が用意されています。体力に自信のある方も無い方も奮ってご参加下さい。

### 大会スケジュール

**8:30**までに グラウンドに集合

会場については担当者に聞いてください。

雨天でソフトバレーボールの場合は

**8:50**までに井原勤労者体育館に集合

開 会 式

遥 拝

大教会長様あいさつ

競技説明

選手宣誓

**9:15** プレイボール

昼 食 (11:00~13:00)

**15:30** 閉 会 式

成績発表

表彰式

挨拶

遥 拝

詳細は

東 ブ ロ ッ ク	陽備分教会長さん
西 ブ ロ ッ ク	東城分教会長さん
福山ブロック	福満分教会長さん
高屋ブロック	秀平元一さん(高屋)
島根ブロック	島根分教会長さん
久松ブロック	中村剛史さん(久松)
上下ブロック	上下分教会長さん
府中市ブロック	甲井分教会長さん

までお尋ね下さい。

大会運営委員会

## 三月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の大らかな親心によります御守護とお導きのままに 日毎に寒さも和らぎ梅の花が咲きほこりウグイスも清らかな声で鳴き競い 桜もつぼみを膨らませ今か今かと咲く時を待つ中 本日春分の日を迎えさせて頂けました事は誠に有難く勿体ない極みでございます

私共は視覚聴覚臭覚味覚触覚の五感を通して四季折々の味わい 楽しみをお与え頂いている事を改めて心で感じさせて頂きつつ 日々は朝夕に御礼申し上げ御恩報じを念じてたすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております

その中今日の吉日はこれの教会にお許し下さいました御祭日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同喜び心も一入に明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめて三月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には春の訪れを待ち侘び今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が日々の理作りに励んだ真実心を持ち寄り 同じ思いに伏し拝み 相共に声高らかにお歌を唱和する状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて一月は直轄教会の大祭参拝 二月そして今月と部内教会への巡教を通して本年の成人の歩みの徹底をさせて頂きました

身上や事情を抱え 夫々に大変なところもありますが 成ってくる理をたんのうの心で生き節と捉え 一手一つの心で勇んで 成人の歩み進めさせて頂く所存でございます その為にも進級・進学・卒業等で家に居る機会が多い子供達に 春の学生おぢば帰りやおつとめ学び総会に参加を促す等 話す機会を増やして「家族揃って教会参拝」に繋げていく所存でございます 更には来月の教祖御誕生祭や婦人会創立百周年記念総会にはしっかりとお誘いし 一人でも多くの方におぢばにお帰り頂き 賑やかにお祝いを申し上げます

何卒親神様には皆の御恩報じ一筋の真実誠の心をお受け取り下さいまして 願う心の誠の理に自由の御守護をお現し下さり 一人でも多くの人に御恩報じの大切さと有難さを気付かせて下さいまして よろづ互いに助け合う陽気づくめの世の状に 一日も早くお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます



## 春季霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます

本席様の神霊 初代真柱様並びに奥様の神霊 二代真柱様の神霊 中山家御先祖の神霊 大教会創設の祖 上原佐吉大人八重刀自の神霊 初代会長上原さと刀自の神霊 二代會長上原伊助大人光刀自の神霊 三代會長上原繁雄大人くに多刀自の神霊 四代会長上原郁雄大人の神霊 笠岡の道の草創の頃より歴代会長と共にご苦勞下さいました役員 部内教会長 よふぼく信者の神霊前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

祖霊様方には 親神様の世界一列救けたいとの思召から夫々のいんねんを見定められて早くからこの道にお引き寄せ頂かれるや 真実の親心に触れて後は御恩報じを念頭に 生きの限りにたすけ一条の御用の上に邁進されました 今日の結果なお道のお見せ頂いているのもひとえに親神様教祖の御守護お導きの賜である事は申すまでもございせんが 又一つにはそうした祖霊様方の真実の伏せ込み理作りの賜でございませぬ

私共は日々 朝夕に御礼申し上げつつ 祖霊様方にもお喜び頂きたいものと 届かぬながらもたすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております 分けても本日は 春の霊祭を執り行う定めの日柄でございませぬので 只今は親神様の御前にててをどりをつとめさせて頂きました 御前に心づくしの種々の物を供えありし日の面影を偲び御遺徳を称える皆の状を御心安らかにお受け取り下さいますようお願い申し上げます

又夫々の教会でのおつとめ奉仕人の増員を目標に 大教会創立百二十周年記念祭目指し 初代の頃の何とも言えない毎日の喜び感謝の心を取り戻すべく 日々の理作りに励み御恩報じとの思いを深めて より一層たすけ一条の上に邁進させて頂く所存でございますので 何卒祖霊様方には親を慕い親に喜んで頂きたい一心で道を歩む 皆の真実の心をお受け取り下さいます 皆の行く末を御心放たずお見守り下さり 万たすけの上により一層のお力添えを賜りまして 陽気ぐらし実現へとお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます



東悠分教会前会長夫人 田林 美智子

踊り子の妙なる技を見る如く

兩岸の桜花感動やまず

借景の美わし安来美のやかた  
(地元元田川のさくらより)

山ぼうし咲き大観を堪能

(足立美術館にて)

### ▼表紙の絵

神邊分教会よふぼく

小坂道利さん

# ・原・稿・募・集・

**内 容**

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介 ③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

**字 数**

1000字前後(800字~1200字) 題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。俳句等は1句からでも結構です。

**寄 稿 先**

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。



郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

FAX：0865-66-1314

メール：[tenkasa@yahoo.co.jp](mailto:tenkasa@yahoo.co.jp)

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。

## 大教会だより

|| 辞 令 ||

◎笠岡創立120周年実行委員  
立教173年3月21日付

岡	森	高	田	山	山
本	本	木	中	野	田
久	忠	昭	隆	弘	敏
善	平	祥	之	実	教

◎教会長資格検定講習会修了者

後期 立教173年4月19日終講  
芳 井 佐 藤 真 孝

## 討 報

浅野正子姉

大教会おつとめ奉仕人  
四月十五日出直されました。  
享年 八十才

## よりみち

教会の庭に3本の椿の木が有る。実にきれいだ。次々に花を咲かす。見れば蕾もたくさんあるなあ。正に百花繚乱(一花だけど)だ。よく見ると3本とも花の色が違う。赤いばかりのものや白に近い薄い桃色の花に小さい紅色花弁が交じっているものもある。"物の本"には日本に300種類あるとのことだ。庭にまだ寒梅の花が残っているがこの季節に花を咲かせて目を楽しませてくれるのは有り難い。困ることもある。まだ花の枯れていない状態でボタツと落ちることだ。首の辺りから落ちるので武家社会で嫌われたことが有るとのことだが、私の嫌うのはそんな精神なことじゃなくて掃除が困るのだ。何せ現実的なんです。朝、掃除しても夕べにももう落ちている。ある時、めんどくさくなって幹を揺さぶってみると「おう、落ちるもんやなあ」と得した気分になった。しかし可哀

想にも思った。そういう優しい心もあるんです。懸命に咲いているんだからな。そう思ってからほんどくさがらないことにした。ある時に木を揺さぶる話しをしたら花好きの年配の方に「まあ、あきれた!」といってこういうことを教えてもらった。



それは"落ち椿"(散り椿)と言って文字通り地面に落ちた(散った)椿の花の様子を見て鑑賞する、思いをいたすこと……。一つ二つの散りざまは淋しいものですが一杯に落ちて辺り一面が赤や白、ピンクの敷物のように見える様は鑑賞に耐えうるとも思います。何か深い思いをいたす……ことはどうも私には"掃除せんとかかん"しか浮かばんな。後、何年経ったら深い思いをいた……。みんな。ともあれ掃除掃除ですよ。(ひ)